

令和4年度 8月定例校長会 教育長講話 要約

(オンラインで開催)

新型コロナウイルス感染症について

7月よりオミクロン株の変異株による感染が全国に広がり、7月26日から31日の一週間当たりの市立学校の新規陽性者数は513人と過去最多を更新しました。直近8月15日から21日は、330人と感染者数の高止まり傾向が続き、第7波の収束が見通せない状況にあります。

各学校は、2学期に入ると体育大会や文化祭、校外学習・修学旅行など、多くの行事が予定されていることと思います。実施にあたっては、熱中症対策とコロナ感染予防に最大の注意を払い、無理のない計画を立ててください。これまでから話をしているように、行事においても従来通りの事を繰り返し行うのではなく、学校や地域の実態を踏まえ、事に当たっては子どもの声を聞くなど、コロナ禍にある新しいスタイルとして大胆に見直していくことも必要です。また、例えば保護者参観についても、感染予防と熱中症のリスクを避けるために、ICTを活用しライブ配信を行うなどの取組も考えてください。

全国学力・学習状況調査について

4月に実施された、全国学力・学習状況調査は、7月末に各学校に調査結果が送られてきており、すでに分析を進めていただいていると思います。学校によっては夏季休業中に中学校区で結果を持ち寄り、校区の子どもたちの実態を共有し、今後の取組について研修を行ったところもあると思います。調査がやりっぱなしで終わらないよう、結果をもとに課題を分析し、指導方法の見直しや系統的な指導の改善に努めてください。本市の状況については、奈良市のHPに掲載していますので、確認しておいてください。

状況を見てみますと、「国語・算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか」という質問に肯定的に回答した割合は、小学校・中学校ともに全国・奈良県の平均を上回っています。また、算数(数学)については、「学力」も平均を上回っています。これは、先生方が児童生徒に寄り添いながら、ICT機器を活用し、質の高い授業をしていただいていることの結果だと感じています。

一方で、国語については、「わかりやすい授業」が「学力」に結びついているとは限らない結果になりました。もちろん全国学力・学習状況調査の結果が全てではありませんが、各学校での授業改善が、子どもたちの「学力保障」に結びついているかどうかの視点からも、各学校で点検をお願いします。

また、「将来の夢や目標をもっている」「今住んでいる地域の行事に参加していますか」「自分には、よいところがあると思いますか」の質問では、いずれも全国を下回り、さらに中学生になると肯定的な回答の割合が低くなっていました。この傾向は、2007年(平成19年

度)の全国調査が始まった時から改善されていません。各学校でも、毎年のように学校教育ビジョンに「向上心や自尊心を高めるような取組を進める」といったことが取り上げられていますが、実際は、それが実態として改善されていないのが現状です。

これについては、学校だけで解決できる課題ではありません。PTAや学校運営協議会などとも結果を共有し、地域ぐるみで「どんな子どもを育てたいか」「そのために、地域・保護者・学校が何をするのか」を考え、もう一度小中一貫教育の視点で、中学校区ビジョンを踏まえ、様々な課題解決に向けて取り組んでください。

施策評価について

教育委員会では、法に基づき効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様に説明責任を果たすため、毎年、業務について、見直しと改善に努めています。令和3年度に行われた教育活動の点検・評価としての教育委員会施策評価を作成し、令和3年3月に策定した奈良市教育振興基本計画に示された項目について、実施状況の点検と評価を行いその成果と課題を明らかにしています。

8月19日の定例教育委員会で協議いただき、教育委員から意見をいただいています。その中の一つに「ICTを活用した学び」についての意見がありました。先ほどの全国学力・学習状況調査の結果から、授業での活用が随分進んでいる様子もうかがえますが、施策評価では「教員のICT活用指導力」という指標を用いて、活用の進み具合を把握しています。

学校における教育の情報化の実態等に関する調査においてICTを活用することが「できる」、或いは「ややできる」とする教員の割合を、現在の約90%から2年後の令和6年度には100%にすることを目標として定めています。

このことについて、教育委員からは、「目標達成には、市教委の教員研修の充実に加え、校内研修に対する指導をどのように行うのか等連携が必要である。」との意見をいただきました。

教育委員会では、こうした指摘も含め施策を点検し、来年度の事業に向けた計画を立案して、PDCAサイクルを回しながら教育の改善を図っているところです。

こうしたPDCAサイクルで自分たちの取組を見直し、教育改善を進めていくのは、学校も同じです。2学期は、学校での学びや活動が大きく前進し、深まる時期でもありますが、同時にその取組を点検・評価し、子どもたちの状況や保護者・地域のニーズを的確に把握しながら、しっかりとPDCAサイクルを回し、よりよい教育活動につなげていってください。

管理職試験について

現在、教員の成り手が不足していることが、全国的な課題となっています。同時に、管理職についても「なり手不足」が大きな課題としてあります。実際、現場の先生方の多くは、管理職になることを目指して教職試験を受けたのではなく、「子どもや、子どもと活動するのが好き」、「自分の好きな教科を子どもたちに教えたい、その教科の良さを伝えたい。」という純粋な思いから先生になったと思います。

しかし、先生として勤めていく中で、誰もが、仲間や、その時どきの管理職によって支え

られ、指導を受け、成長してきました。それは、校長先生方も同じではないでしょうか。そうであるなら、経験を積み、教員としてのキャリアを持った先生は、今度は自分がほかの教員を支え、指導していく側に回る立場になっていく必要があると思います。校長先生方も、これまでの諸先輩方も、そうして管理職になり、学校教育は続いてきました。

今、「管理職はしんどい」という負担感ばかりが強調され、校長としての悩みや苦勞も多いと思いますが、教員の時とはまた違うやりがいや喜びもあると思います。ぜひ、悩み多き校長としての姿だけでなく、やりがいを持って、生き生きとしている姿を職員に示し、「校長先生の姿を見ていて、自分も管理職に魅力を感じるようになった。」「校長先生のような管理職になりたい。」という教員を一人でも多く、育ててください。

各学校で、積極的に声を掛けていただき、管理職を目指す教員の育成もお願いします。この次の時代のリーダー作りも校長先生方の大切な役割の一つとして、管理職試験を機会にミドルリーダーの先生方と話をし、次世代を担う管理職の育成と推薦をお願いします。

奈良市総合防災訓練について

10月30日（日曜日）に、「奈良市総合防災訓練」が実施されます。今年度は、特に学校と地域が連携した防災について推進いただくようお願いします。市民一斉の避難訓練ということで、避難所の開設やその運営訓練も同時に行います。

訓練会場となる学校はもちろんのこと、会場に指定されていない学校についても、奈良市一斉の、しかも自分の校区で行われる訓練ですので、校長先生自ら積極的に参加・協力してください。よろしくをお願いします。